



2007 年 3 月 9 日

ネット証券初！MSCI インデックス 2 銘柄 米国株式 ETF 銘柄追加のお知らせ

楽天グループのインターネット・トレーディング専門の証券会社、楽天証券株式会社（代表取締役社長：楠雄治、本社：東京都港区）は、海外 ETF 2 銘柄を 3 月 20 日（火）国内約定分より当社取扱銘柄に追加いたします。

楽天証券はネット証券における外国株式取引サービスのパイオニアとして、1999 年 12 月より米国株式（現在 554 銘柄）の取引を提供しております。今回の追加により、弊社取扱米国株式銘柄数は 556 銘柄となり、米国 ETF 銘柄数は 4 銘柄となります。

■ 背景・狙い

昨今の米国の市場は急速に拡大しています。米国投資会社協会（ICI）によると、2006 年 11 月末時点における ETF の銘柄は 333 銘柄と、2005 年末時点の 201 銘柄から 6 割超増加しています。

また、同月末の純資産額は約 4,000 億ドルと 1993 年の導入以来、急速に拡大しており、近年その存在感が高まっています。

ETF 市場拡大の背景には、まず世界の株式市場がここ数年堅調なパフォーマンスを遂げていることが挙げられます。米国の代表的な株価指数 S&P 500 は 2003 年以降 4 年連続で上昇しており、この間、年率 13% のパフォーマンスを記録しています。

次に、従来のオープンエンド型インデックス投資信託に比べ、運用コストと取引の柔軟性で優れていることが挙げられます。ETF は投資信託と比較すると運用コスト（信託報酬）が、低くなっており、長期投資を考える個人投資家にとっては有意義な商品となっています。また、従来のオープンエンド型インデックス投資信託は、運用会社が 1 日 1 回算出する基準価額に基づいた売買に限られるのに対し、取引所に上場している ETF は、通常の株式同様、取引時間中はいつでも買付や売却が可能です。

しかしながら、日本において米国の ETF を取扱う証券会社は少なく、個人の投資家が、直接米国の ETF に投資することは難しい状況でした。今回、国際分散投資を行うお客様のニーズに応え、ネット証券において初めての取扱いとなる、MSCI エマージングマーケットインデックスと MSCI EAFE インデックスの 2 銘柄を追加することにいたしました。

■ 追加銘柄について

追加する銘柄は以下のとおりです。

ティッカー	ETF 銘柄名	主要取引所	業種
EEM	ISHARES MSCI EMERGING MKT	New York	その他
EFA	ISHARES MSCI EAFE INDEX FUND	New York	その他